

# カーボン・ニュートラル達成に向けた大学等の貢献に係るステートメント（案）

カーボン・ニュートラル\*の実現は、自然環境を生存基盤とする人類の存続の危機に関わる課題であり、国や地域を持続可能で強靱な経済社会へと再設計していくために必要不可欠である。我が国や世界の2050年までのカーボン・ニュートラル達成や気候変動による甚大な影響への対応のためには、**技術イノベーションのみならず経済社会システムのイノベーションが必要**であり、そのための**知見の創出を加速**するとともに、**これらを総動員して、地域、国、世界に貢献**することが求められている。

このようななか、**大学は、教育・研究・社会貢献活動を通じて**、国や地域の政策やイノベーションの基盤となる科学的知見を創出するとともに、その知を普及する使命を持ち、以下の例のように、**国内外に果たすことのできる役割は極めて大きい**。

- 人文・社会科学から自然科学までの「**総合知**」の創出と分野融合、これらの知を活用した**地域のゼロカーボン化や気候変動への適応**に係る取組への協力
- 自治体や企業、大学間の共同研究等を通じた、脱炭素技術やプラスチック代替・循環技術などの**新たな技術や価値観・行動様式の創出**
- 環境分野における**人材育成やリテラシー向上**
- 地域における社会実装の場としての**大学キャンパスにおけるゼロカーボン化**の推進
- 誰ひとり取り残さない社会の実現に向けた**世界貢献と国際連携**

以上を踏まえ、大学が、国、自治体、企業、国内外の大学、研究機関等との連携を通じ、取組や成果の水平展開、革新的なイノベーションを生み出す研究開発や成果の社会実装の推進、ネットワーク・発信力の強化などを行う場として、「**カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学等コアリション**」（仮称）を**本年夏頃に立ち上げ**、社会における**大学の機能と存在感を一層高めるとともに**、カーボン・ニュートラル達成に向けた取組を**大学から大学、地域、国、世界へと、次々と展開**させるために貢献することをここに決意する。

令和3年3月23日  
120の国公立大学等  
文部科学省、経済産業省、環境省

(\* )ここでは、二酸化炭素、メタンなどの温室効果ガスの排出量から、温室効果ガスの吸収量と除去量を差し引いた合計をゼロにすること。（「ゼロカーボン」も同じ）